

準決勝 第1試合

日時 2012年 2月 18日(土曜日)
試合会場 千葉県総合運動場サッカー・ラグビー場
気象状況 天候: 晴れ 気温: 5度 湿度: - 風力: - ピッチ状況 天然芝
キックオフ 11時00分

対戦チーム

八千代トレセン

市川トレセンB

試合結果

4	(1)	前 半	(0)	
	(3)		後 半	(2)
	-		(PK)	-

戦 評

先日の降雪により試合が行われるか心配であったが天気恵まれピッチコンディションは良好、一時間遅れとはなったが、晴天の中で準決勝第一試合、八千代トレセン(以下 八千代) 対 市川トレセンB(以下 市川)の試合は市川のキックオフで始まった。

主導権を握るためお互い激しい立ち上がりになった。

3分 八千代24番堤君が右サイドを突破しクロスを入れる。3番佐藤君が飛び込むもクロスに合わせることができずシュートにはならなかった。

立て続けに八千代が攻撃を仕掛ける、21番正田君が左サイドを崩しクロスを上げる、クロスに15番影山君がボールを収め後方にボールをつなぎ再びそこに飛び込んだ3番佐藤君がシュートを放つも枠を捉えることができない。

4分 八千代がコーナーキックからチャンスを作り出す。コーナーキックを25番平塚君が合わせそのこぼれ球を10番吉田君がゴールを狙うもボールは惜しくもゴールマウスの上へ外れてしまう。

主導権を握った八千代が攻撃を仕掛けるが市川の11番志水君と25番黒澤君を中心とした固い守備を崩し切れない。

市川も31番岩橋君と12番荻本君を起点にボールをつなぎチャンスを窺うがなかなかシュート打つことができない。

15分 八千代が先制点を決める。中央で15番影山君がボールをキープし右サイドへパス、そこへタイミングよく関わった24番堤君が絶妙なファーストタッチから放ったシュートが左サイドネットに突き刺さり八千代が先制。

その後、市川は16番島野君を前線に残しカウンターを仕掛けるも八千代GK宮崎君が広範囲に飛び出しカウンターを防ぐ。このまま得点は動かず前半終了。

慎重に進んだ前半とは裏腹に後半は得点が多く生まれる試合展開となった。

24分 市川10番風間君がポストプレーから裏へスルーパス、相手よりも先に裏へ抜けた18番野本君がGKと1対1になりゴールへ流し込みゴールネットを揺らす。市川が試合をふりだしに戻した。

29分 八千代の攻撃。ゴール前にあがったボールを25番平塚君が頭で合わせるもゴールマウスに届かずもそのこぼれ球を10番吉田君がゴール前の混戦を押し込みゴールを奪う。八千代が再びリードを奪う。

35分 再び八千代がチャンスを掴む。21番正田君が中央でボールをコントロール、ゴールに背を向けていたが振り向きながらのシュートがゴールに突き刺さる。3-1と市川を突き放す。

39分 市川が粘り強い守備からカウンターを仕掛ける。12番荻本君のフィードに18番野本君が抜け出しGKの位置を確認して冷静にゴールへ流し込み2点目を獲得。3-2と試合の流れを引き戻す。

お互いに攻撃の手を休めず最後までゴールへ向かう展開となる。

そして40分 八千代21番正田君が巧みにDFをかわし左足でのシュートがゴールネットを揺らす。

得点が4-2となったところで試合終了。

両トレセンとも個のレベルが高く、そのレベルをベースに、コンビネーションで崩す八千代と個で運ぶ市川とのこだわりが感じられる試合だった。緊迫感のある好ゲームを魅せてくれた全選手の今後の活躍が非常に楽しみである試合であった。

準決勝 第2試合

日時 2012年 2月 18日(土曜日)
試合会場 千葉県総合運動場サッカー・ラグビー場
気象状況 天候: 晴れ 気温: 5度 湿度: - 風力: - ピッチ状況 天然芝
キックオフ 12時00分

対戦チーム

印西トレセン

木更津トレセン

試合結果

0	0	前 半 後 半 (PK)	1	3
	0		2	
	-		-	

戦 評

準決勝第2試合は 印西トレセン対木更津トレセン リーグ戦では接戦をものにし勝ちあがってきた両チーム、印西トレセンのキックオフでゲームが始まった。立ち上がり堅さの見える印西トレセンに対し木更津トレセンは中盤で奪ったボールをコンビネーションのよいシンプルなパスワークで前線につなぎゴールへ向かう。前半2分 木更津トレセン 7番 鶴岡君が積極的に放ったシュートはDFにブロックされるが、こぼれ球に走りこんできた 5番 福田君がミドルシュートを決め木更津トレセンが先制点を奪う。早い時間帯で得点を奪えた木更津トレセンが主導権を握りゲームを優位に進める。前半9分にも 7番 鶴岡君のドリブル突破からのシュートは、惜しくもクロスバーをたたく。その直後にも立てパスから 7番 鶴岡君が抜け出しシュートを放つが追加点を奪えない。対する印西トレセンも早く同点に追いつこうと積極的にゴール前にボールを送る。前半12分 右サイド5番 横溝君が入れたクロスに 10番 角田君が飛び込むもあわず。

13分にもFKから 3番 大門君が直接ゴールを狙うが、木更津トレセン GK 鈴木君のナイスセーブに阻まれる。

堅さが取れ何とかリズムに乗りたい印西トレセンだが、中盤で早い木更津トレセンのプレスで起点を作れないまま前半終了。

後半に入っても木更津トレセンの猛攻は続く。7番 鶴岡君からのスルーパスに5番 福田君がシュート ゴールに思えたが惜しくもオフサイド、後半5分 木更津トレセン 11番 鈴木君からのパスを 5番 福田君が中央突破で抜け出しゴール左隅に決め追加点。後半12分 スピードのある木更津トレセンの攻撃に印西トレセンのDFが引き気味になり中盤でスペースができ木更津トレセン 14番 渡辺君が空いたスペースに走りこみロングシュートを豪快に3点目のゴールを決めた。

その後も木更津トレセンは攻撃の手を緩めることなく印西トレセン陣内でゲームを進める。印西トレセンは終了間際カウンター攻撃から 10番 角田君が抜け出しシュートを放つが惜しくもサイドネット。印西トレセンは最後までゴールが遠いままゲーム終了。3-0で木更津トレセンが決勝戦へ勝ち上がった。

試合序盤で パスミス、コントロールミスが目立った印西トレセンだが、緊張からか、自分たちの力を発揮せずに試合が終わってしまったように見えた、今後この経験を活かしてほしい。

木更津トレセンは、7番 鶴岡君を中心に、スピードのある 5番 福田君、正確なキックの 10番 松崎さんと攻撃陣が目立った試合だったが、ゴールを目指し、ボールを奪い、ゴールを守るといったサッカーの本質的なことを最後までチーム全員で集中を切らさず戦っていた。

決勝戦

日時 2012年 2月 18日(土曜日)
 試合会場 千葉県総合運動場サッカー・ラグビー場
 気象状況 天候: 晴れ 気温: 6度 湿度: - 風力: - ピッチ状況 天然芝
 キックオフ 14時00分

対戦チーム	八千代トレセン	木更津トレセン
-------	---------	---------

試合結果

2	0	前 半	0	0
	2		0	
	-		-	
	-		-	
	-		-	
		(PK)	-	

戦 評

攻撃的なスタイルの両トレセン、八千代トレセン(以下 八千代)対木更津トレセン(以下 木更津)の決勝戦は八千代のキックオフで始まった。緊張感ある試合雰囲気にお互い慎重な滑り出しとなった。試合序盤はシュートもなく一進一退の攻防が続いた。

7分 最初のチャンスは木更津。5番福田君が裏へ抜け出すもシュートは打てず攻撃を終了する。

このプレーで木更津が主導権を握るかと思われたがピンチを迎えたことで気が締まった八千代が攻撃を仕掛ける展開となる。

12分 八千代10番吉田君の個人技による突破を図るがフィニッシュで終われず。

14分 またも八千代が10番吉田君を起点にチャンスを生む。25番平塚君が裏へ抜け出しシュートを放つもゴール右へ外れる。

16分 八千代13番山田君がインターセプトからそのまま持ち込みシュートを放つがGK正面となる。

八千代の攻撃が続くが、木更津もGK1番鈴木君が好セーブによりチームを救い、ボールを奪っては10番松崎さんを起点に7番鶴岡君と5番福田君が突破を狙う展開が続いた。

20分 八千代のコーナーキックをGK1番鈴木君がキャッチしたところで前半終了。

お互いにフィニッシュの精度を欠きスコアレスの状態。

前半は決勝戦らしい緊迫感のある展開で観ている者にも緊張が伝わる内容であった。

後半最初のチャンスは八千代に訪れる。

21分 八千代の攻撃、13番山田君が中央より左サイドで待つ21番正田君へパス、正田君が左サイドを突破しクロスをあげる。そこへ10番吉田君が飛び込むもボールに合わせる事が出来ずゴールは奪えなかった。

25分 再び八千代の攻撃。23番宮地君のくさびを10番吉田君が収める。吉田君がそのままDFをかわしゴールへ向かいGKとの1対1に持ち込みGKとの駆け引きに勝ち冷静にゴールへ流し込み先制点。個の技術の高さと冷静さの備わった素晴らしいゴールでした。追いつきたい木更津、30分にFKのチャンスを得る。FKを蹴るのは10番松崎さん、ゴール前で待つ5番福田君に合わせようとするも届かずGKにキャッチされる。

32分 八千代10番吉田君が中央からボールを持ちだし突破を図る、巧みな個人技によりDFを抜き去り最後は21番正田君がゴールを決めて2-0と木更津を突き放す。

2点差となった木更津が猛攻を見せる。

37分 木更津5番福田君の中央突破から7番鶴岡君につなぎシュートを打つが惜しくもGK正面に終わる。

最後まで猛攻を仕掛ける木更津であったが得点を奪うことができず試合終了。

平成23年度千葉県郡市トレセン少年サッカー選手権5年生大会は八千代トレセンの優勝で幕を閉じた。

最後までチーム一丸となりあきらめない姿勢で戦いぬいた木更津トレセン、試合を通じてスタイルを貫き勝利した八千代トレセン、両チームの今後の成長を期待しながら、これから迎える小学生最後の年を盛り上げてほしいと願いたくなる好ゲームでした。